

関係各位

レンゴー株式会社
広報部

「エコチャレンジ 2030」の指標・目標の見直しについて

レンゴー株式会社は、当社グループの2030年度に向けた環境目標「エコチャレンジ2030」に関して「脱炭素社会の形成」「循環型社会の形成」「水リスクの管理」の3つの重要課題への取組みをさらに強化するため、指標・目標の見直しを行いました。また、これらの目標を達成するため、環境投資に概算700億円を組み込みましたのでお知らせいたします。

当社グループは、より少ない資源で大きな価値を生む“Less is more.”を環境経営とパッケージづくりのキーワードに、持続可能な社会の実現と当社グループのさらなる価値向上を目指して「エコチャレンジ 2030」の目標達成に向けて取組みを進めてまいります。

<「エコチャレンジ 2030」指標・目標の見直し内容>

●脱炭素社会の形成

対象ガスおよび対象範囲を拡大し、国内グループ会社一体となって温室効果ガス排出量の削減に取り組む

●循環型社会の形成

板紙の古紙利用率の目標を引き上げ、あわせて未利用材の利用拡大を目指し、資源の有効利用に取り組む

●水リスクの管理

水使用量の削減目標を新たに設定し、国内グループ会社一体となって水リスクの低減に取り組む

エコチャレンジ 2030（見直し部分のみ抜粋）

重要課題	項目	指標	2030 年度
			目標
脱炭素社会の形成	温室効果ガス排出量の削減	【変更前】 化石エネルギー起源 CO2 排出量（2013 年度比） <対象範囲> レンゴー単体および国内連結子会社の「省エネ法」対象企業※ ¹ ↓ 【変更後】 温室効果ガス排出量※ ² （2013 年度比） <対象範囲> レンゴー単体および国内連結子会社（事務所、倉庫等の非製造拠点を除く）	46%削減
		【新規追加】 未利用材の利用拡大 <対象範囲> レンゴー単体および国内連結子会社の板紙製造拠点	【変更前】 98%以上 ↓ 【変更後】 99%以上 * 2027 年度を年限とする
循環型社会の形成	資源の有効利用	板紙の古紙利用率 <対象範囲> レンゴー単体および国内連結子会社の板紙製造拠点	【新規追加】 調達する未ざらしパルプを国内未利用材由来とすることを目指す * 2027 年度を年限とする
		【新規追加】 水使用量原単位※ ³ （2021 年度比） <対象範囲> レンゴー単体および国内連結子会社の製造拠点※ ¹	【新規追加】 22%削減
水リスクの管理	水リスク評価とリスクの低減		

※1 国内連結子会社の子会社を除く

※2 「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく調整後温室効果ガス排出量

※3 水使用量÷売上高

以上